

野菜の魅力、学んで、伝えます！  
～キッズ野菜ソムリエ～

2月4日、たけはら海の駅で、キッズ野菜ソムリエ任命式が行われました。

「キッズ野菜ソムリエ」に任命されたのは、12人の市内小学生。数種類のトマトや、ドライフルーツと生のフルーツの食べ比べを行いました。同じトマトでも、種類が違くと匂いや甘さが違うことや、生の果物を乾燥させることで甘みや酸味が強くなることにとても驚いていました。

2月10日に大井公民館で行われたキウイタルト作りでは、調理方法はもちろん、ハーブが昔は薬として使われていたこと、果物のキウイの名前が、鳥のキウイに由来することなどを学びました。

3月には、アヲハタジャムデッキで、地元のイチゴとハーブを原料としたジャムづくりを体験する予定です。

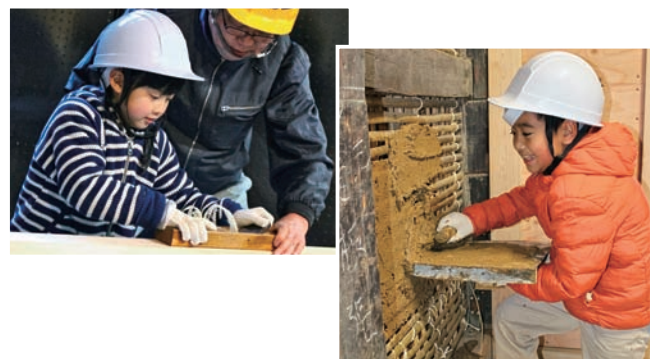


子ども達に合った教育を  
～特色ある学校づくり～



1月25日、文化創造ホールで、特色ある学校づくり報告会が行われました。竹原西幼稚園は「運動遊び」を通じた取組を、竹原小学校と賀茂川中学校はこれからの社会に必要な力を育てる取組を、東野小学校は教職員の組織づくりの取組を報告しました。後半は、県教育委員会の下崎邦明教育長による「学びの変革」をテーマとした講演が行われ、「子ども達がより深い知識を得るために、各学校で工夫してほしい」と熱く語られました。

竹原の歴史を守る「ちびっこ大工さん」  
～歴史体験講座～



2月10日、町並み保存地区で、たけはら歴史体験講座が行われました。市内の小学生25名が「ちびっこ大工さん」として、竹原の歴史を学び、伝統的な町家の土壁塗りやカンナがけを体験しました。文化財修理で用いられる釘を使わない木の組み方の説明では「パズルみたい」、ひのきのカンナくずは「良いにおい」、土壁塗りは「重い！でも楽しい」と子ども達は大喜び。町並みの散策も行い、クイズ形式で楽しく歴史を学びました。

ティータイム

3月、卒業の季節です。巣立ちの季節であると共に別れの季節でもありますから、やはり寂しさと共に思い出される記憶が多数。もう二度と会えない別れもあれば、数年、そして十年以上を経てとても良い形で再会できたりもしますから、別れも人生の一部としてしっかり味わいたいですね。☺

※人のうごきは、れんらく板に配置しています。

市政発展のためのご意見などをお寄せください

郵便 〒725-8790 (住所不要) 竹原市企画政策課「市長への私の提案」係 FAX 22-0998  
※市ホームページ「市長の部屋」内「市長へのメール」からでも送信できます。ご意見等は「市長の部屋・掲示板」にて公表させていただく場合があります。

発行 / 広島県竹原市企画政策課 ☎ (0846) 22-0942 FAX (0846) 22-0998  
竹原市ホームページ <http://www.city.takehara.lg.jp/>



(この広報は再生紙・大豆油インクを使っています。)